

# プロトコール

第2回

日本トルクメニスタン／トルクメニスタン日本  
経済合同会議

1995年9月6日～7日

於：アシガバード市

1995年9月6日～7日、アシガバード市に於いて、第2回日本トルクメニスタン・トルクメニスタン日本経済合同会議を開催した。

ニャゾフ・トルクメニスタン大統領は、室伏 稔会長を団長とする日本側代表団を接見した。

トルクメニスタン側団長は、サパロフ・トルクメニスタン閣僚会議副議長・トルクメニスタン日本経済委員会会長が務めた。

日本側団長は室伏 稔・日本トルクメニスタン経済委員会会長・伊藤忠商事株式会社取締役社長が務めた。

1. 合同会議に於いては、トルクメニスタンの省庁の代表者及び、日本の経済界並びに省庁の代表者が出席し、報告及び挨拶を行った（別添資料1.2.3.）。
2. 合同会議において、日本トルクメニスタン経済委員会及びトルクメニスタン日本経済委員会設立以降の諸成果についての協議がなされると共に、設定された諸目標達成のための具体的方策が定められた。
3. 双方は、第1回日本トルクメニスタン・トルクメニスタン日本経済合同会議開催以降における日本とトルクメニスタンの貿易・経済関係が活発になったことに満足の意を表するとともに、両国間の貿易・経済関係の更なる拡大と、両国間の広範なる投資拡大のための措置をとる用意のある旨表明した。
4. 日本側は、トルクメニスタンにおいて進行中の経済改革を肯定的に評価するとともに、燃料エネルギー、鉄道輸送、通信、保健、医療産業、銀行制度、農業及び人材育成分野における互惠協力のための可能性を今後とも検討する。
5. トルクメニスタン側は、日本側に対し、トルクメニスタンの社会・経済発展、石油ガス分野の発展、通信、保健及び医療産業、鉄道輸送及び空港管制、投資対象優先プロジェクトに関する更なる情報の提供を保証する。日本側は、これらプロジェクトの実現化に参入するための具体的な方策の実施につき、トルクメニスタン側より報告を受けた。  
双方は、より広範な経済情報の交換が両国の利益に應えるものであることを確認した。
6. 合同会議に於いて、トルクメニスタン側は日本側に検討を希望する以下の優先プロジェクトを提示した。

ーテジェン～セラフス間鉄道路線の建設及びアシガバード市の貨車修理工場の近代化（基本プロジェクト）

ーガザンジク～ギジルエトレク間鉄道路線の建設

トルクメニスタン記念病院向け医療機器

7. 双方は、トルクメニスタンの石油・ガスコンプレックスの成功的発展に満足の意を表明した。日本側は、これらのプロジェクトの実現に協力する意向を表明した。
8. トルクメニスタン側は、トルクメニスタンの漁業分野を発展させるため、日本側が同分野において有する豊富な経験に鑑み、協力の可能性を検討するよう提案した。
9. アシガバード公式滞在中、日本側代表団の代表者は、石油・ガス省、対外経済関係省、対外経済銀行、農業・食糧省の幹部と面談を行い、協力の具体的な方向性と、共同プロジェクトの具体化の方策について協議するとともに、将来に向けての話し合いが行われた。
10. 双方は、双方にとって都合の良い時期に、日本において、第3回日本トルクメニスタン・トルクメニスタン日本経済合同会議を開催することで合意した。
11. 本プロトコールはロシア語及び日本語各2部作成され、1995年9月7日アシガバード市において調印された。両テキストは、同等の効力を有する。

---

室伏 稔  
日本トルクメニスタン経済委員会  
会長  
伊藤忠商事株式会社取締役社長

---

R. サパロフ  
トルクメニスタン日本経済委員会  
会長  
トルクメニスタン閣僚会議  
副議長